

平成28年度 国立吉備青少年自然の家教育事業

吉備ボランティアスキルアップ研修

1. 事業の目的（趣旨・ねらい）

当施設の活動プログラムを体験することをとおして、活動内容や安全面について理解し、事業において適切な支援ができるようになる。また、吉備ボランティアとしての資質や能力の向上を図り、ボランティア活動に対する意欲を高める。

2. 事業の概要

（1）期日

平成29年3月25日（土）～26日（日） 1泊2日

（2）参加者

①募集対象・人数

吉備ボランティア・20人

②参加者

15人

（3）講師等

国立吉備青少年自然の家 次長 高藤佳明

国立吉備青少年自然の家 企画指導専門職

（4）企画・運営のポイント

- ① 年度末ということもあり、次年度につなげていくことを考え、ボランティアの意義についての再確認とモラルについて学び合うプログラムを活動に取り入れた。
- ② 3月に実施する吉備ボランティアの自主企画「ウーリーズキャンプ」につながるプログラムとした。
- ③ 参加者が各活動で利用者への声掛けの内容、安全管理などに関する振り返りを自ら行うことにより、個々のスキルを向上させるとともに自主企画に向けてのチームとしてのつながりを深めることをねらいとした。

3. 活動の内容等

3月25日（土）		3月26日（日）	
12:30	受付	6:15	起床・洗面・清掃
13:00	開講式	7:45	朝のつどい
13:30	研修1 講義「モラルについて」	7:30	朝食
12:00	昼食	10:00	研修5 ネイチャーゲームについて
14:30	研修2 ウォークラリーについて①	12:30	昼食
17:15	夕べのつどい	13:45	研修6 竹スプーン作りについて
17:30	夕食	15:45	閉講式
18:30	入浴		
19:30	研修3 講義「ボランティアとは」		
20:30	研修4 ウォークラリーについて②		
22:00	就寝		

(2) 活動状況



【開会式】



【ウーリーズキャンプの説明(開会式後)】



【研修 1】



【研修 1】



【研修 2】



【研修 2】



【研修 3】



【研修 3】



【研修 4】



【研修 5】



【研修 5】



【研修 5】



【研修 6】



【研修 6】

4. 成果・課題

(1) 満足度

満足 93% やや不満足 7%

(2) 参加者の声

- ① ボランティアとしてどうあるべきか、今後どうするべきかをじっくり考えられる機会となりました。
- ② スキルアップ研修の講義内容はとても勉強になる事ばかりだったので、もう少しゆっくり別の機会に学びたかったと思います。
- ③ とても納得できることばかりで、自分の知識が増えました。
- ④ ネイチャーゲームでのアドバイスがいただけたので勉強になりました。

- ⑥ 竹スプーン作りなど、私たちが知らないことをたくさん教えていただき勉強になりました。

(3) 成果

- ① 講義によって、ボランティア活動及びモラルについて学びの場を設定することができた。
- ② 自主企画の内容を含めることにより、事前に体験することができ、実際の指示の出し方やリスク管理を行うことができた。
- ③ 参加者が、各活動を行う際に子供の目線に立つことができた。自主企画に参加する子供たちが満足できる自主企画になるためのスキルを身に付けることができた。

(4) 今後の課題

- ① ボランティアのニーズを把握し、どのような研修内容が有意義な研修になるかを考え、ボランティアのスキルアップとチーム力を高める内容で研修を構成する必要がある。
- ② 今回は、学んだことを自主企画事業につなげることをねらいとして実施時期を調整した。自主企画へとつなげるという点では、有効な時期であったが、今後は、実施時期についても全てのボランティアにとって参加しやすい時期を選定する必要がある。

担当：企画指導専門職 大下 展弘